

落差工

① 落差工の数



高野川
御蔭橋～河合橋

鴨川

柁野堰堤～出町橋 30箇所
出町橋～京川橋 16箇所
合計 46箇所

高野川

三宅橋～鴨川合流点 15箇所



鴨川 北山大橋～北大路橋



鴨川 勸進橋～水鶏橋

鴨川の流れと京都の地形

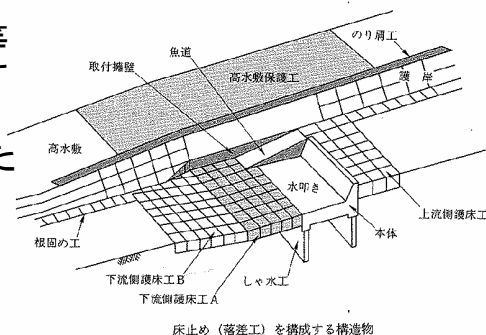


鴨川の勾配は、平均すると約200分の1 (200m歩いたら1m登る) であり、桂川(約800分の1)、宇治川(約1200分の1)、木津川(約1100分の1)などと比較して急な勾配となっています。

東寺の五重の塔(高さ約57m)の頂上が、東寺から約8km上流にある北山通りの高さと同様であることからわかるように、京都のまちを南北に流れる鴨川の勾配は急となっています。

床止め(落差工)

- 床止めとは、河床の洗掘を防いで河道の勾配等を安定させ、河川の縦断又は横断形状を維持するために、河川を横断して設ける施設
- 落差がある床止めを「落差工」、落差がないかまたはあっても極めて小さい床止めを「帯工」
- 落差工
 - 河床勾配を緩和するためのもの
 - 乱流を防止し、流向を定めるためのもの



鴨川、高野川の環境基準及び京都市保全基準の達成状況(BOD)

	測定箇所	環境基準 (mg/l)	測定点	平成19年	平成18年	平成17年	基準達成状況
鴨川	高橋	2以下	※	0.6	<0.5	<0.5	○
	北大路橋	2以下	※	0.8	0.7	0.8	○
	出町橋	2以下	環境基準点	1.0	0.9	0.8	○
	三条大橋	2以下	環境基準点	1.0	0.8	0.7	○
	勧進橋	2以下	※	1.4	1.0	1.1	○
	鳥羽大橋	3以下	※	1.4	1.1	1.1	○
	京川橋	3以下	環境基準点	1.4	1.1	1.0	○
高野川	三宅橋	1以下	環境基準点	0.7	<0.5	<0.5	○
	高野橋	2以下	※	1.0	0.6	0.8	○
	河合橋	2以下	環境基準点	1.0	0.6	0.5	○

注) 1 ※は環境基準点補助測定点

2 出典:京都市環境企画部環境指導課「京都市における大気、水質等環境調査結果」